

市政モニター 施設見学・市長との座談会



市政モニター事業の一環として、去る1月30日、市政モニター18人の参加により、市の施設など（スポーツセンター・環境センター・なんこく流通団地・吾岡山文化の森・南国オフィスパーク）を見学の後、市政モニター会長副会長の司会で各施設の感想や今後の南国市のまちづくりなどをテーマに、市長との座談会が行われました。内容は、あらまします。



税などの税率が高いというイメージを持っていましたけれど、税金が高いだけではないなあと、こんないい施設があり、特に環境センターは、近代化した設備で感心しました。しかし、吾岡山文化の森の遊具は、孫と一緒に遊んでみると傾斜が急なことなどで怖くて、子どもだけでは乗せられません。若い親子連れもいっぱい遊びに来ていて大変よいことだと思えますけれど、こういうものを設置する段階で、一考がほしかったなあと感想です。

会長 状況を見てもらって、その辺は手直しをお願いしたらどうでしょう。

モニター 後免や大篠は市の中心地ですが、桜の丘などどハツタ市民の憩いの場を中心地に近い所に造ってもらいたいですね。
市長 安全確保と吾岡山の利用は、団体のサッカー使用後、サッカー専用グラウンドにはしないで屋外活動全般に開放していきたいです。花が少ないことは、確かに私もそのように思います。それから、見学していただいた各施設は、10、13年前に基本構想を作り歴代市長を先頭に積み重ねたものなので、その辺はご理解していただきたいと思います。

するとということではなく自然に返そうということ、将来の話ですがクロスカントリーなどができる起伏のある公園はどうかなど検討課題が上がっています。
モニター スポーツセンターは、なかなか立派な体育館ですが、維持費に年間3千万円くらいかかる聞きました。これをなんとか利益の上がる方向にもっていったほうがいいですね。
企画課長 やはり適正な使用料といえますか、そういうことも考えていかなければいけないと思います。
モニター 南国市は、固定資産

会長 今回、いろいろな施設を見て、我々の知らなかった分野が至るところにあり認識を新たにしました。モニターの仕事は我々が投げかけたものが市政に1滴の潤滑油のように役立てば十分だと思えますので、今日感じたことを投げかけてほしいと思います。
モニター 北部のし尿処理場跡地を開放的にして整備してほしいですが、
市長 今、黒滝地区を生涯学習の森といったような形にしたいと計画を立てています。処理場跡地については、施設づくりを

市長 今日は市の施設見学をしていただき、南国市がどのような形で発展し、市に勢いが出ていくのかを見ていただきました。南国市は、空港・高速度道路のインターがあり、高知新港に近く本県の交通拠点・支那都市です。これを生かした交流の盛んな副都づくりを行っていくことが、将来に希望が持てるまちづくりだと思っています。副都を目指するために7つの拠点整備を掲げて事業を進めていきますが、今日はそのうちの3つの拠点づくりの核となる施設を見ていただきました。

市政モニター座談会

モニター 健康文化都市南国ということで、箱物はできたなあと感じました。さらに市民のための施設として盛り上げていくには、専門機関や民間の方の知恵を拝借することが大切ではないかと思えます。また、そのようにしていただきたい。
市長 施設の運営経費をどのようにしていくか、しかと方策を立てながら進めないとイケません。新聞などに出ていっているように、今一生懸命税金の使い方、行政改革を行っています。その柱は、役所がやらなくても民間でやれる仕事は民間にやっただけ、例えば、保育所の民間でやれる地域は民間でお願いする、このような思い切った税金の使い方を考えていかないと新しい事業はできないし、造った施設の経営もまずまず窮屈になってくるといふことで十分考えていきたいと思います。



モニター 図書館は、銀行の間借りという感じで、南国市に欠けているのは文化施設ですね。それと公共交通機関が、もう少し充実してほしいと思います。スポーツセンターへのバスはありますか？
市長 いや、まだです。
モニター そういう所に行くのに例えばお年寄りとか車を持ってない人は大変だと思いますね。
市長 図書館ですが、単独で建設してほしい意見もありましたけれど、再開発事業の中へ図書館を造ります。予定どおりならば、15年竣工です。
モニター 小学校・保育園の図書室や遊具などを開放して地域のお母さんたちが交流できる環境を早くつくってほしいという気持ちです。
市長 大変貴重なご提言だと思います。保育園・学校開放はどのような形で開放するかという段階に入っていますので、ぜひ考えていきたいと思っています。

モニター スポーツセンターに10人くらいの会議室があることを初めて知りました。そういうことが情報としていき届いてないと思えます。それから介護保険が始まりますが、サービスと保険料の関係など他市町村に比べて恥ずかしいようなことがないようには
モニター 最近、女性が市政に

意見を述べる機会がだんだん出てきました。その時に重複した人事、例えば何々の長が別の審議会や委員会へも出席するということのような人事があると思いたいです。それをできるだけ避けてもらいたいと思います。それから、環境問題について、新聞に高知市がゴミの減量推進委員制度を作ったと出ていたことが、私は、収集日にゴミステーションでゴミの整理をしたりマナーの悪い人に注意をしたりしていただきます。これも市民参加のまちづくりのひとつではないかと思っています。
市長 重複任命は、必要な場合を除き、できるだけ避けるようチェック機能をしていき安易に組織の長にお願いすることは避けたいと思えます。ゴミの減量は、担当課にも話をしまして、本格的な取り組みをまともな取り組みしたいと思います。図書館の建設



スポーツセンターを見学

市民からのお便り 各市町村で行政の方々をはじめ、市民が一丸となって我が町を守り育てていること努力しています。私たち南国市民も身近なことでお手伝いできればと思います。

は、文化活動や図書館建設に熱心な市民の方を計画段階で参加させて市民の声が反映できるようお願いします。

市長 計画段階からそれぞれ適切な方のご意見を伺うことにしていきたいと思えます。オフイスパークの企業誘致が大変遅れまして申し訳なく思っています。市出身の方で現役・引退を問わず企業誘致に力を貸してくる人、仮称でだけれど企業誘致アドバイザーをお願いする新しい方向で取り組みたいと思っています。



環境センターで、し尿処理を学習

モニター まちの中に1人暮らしの高齢者が増えています。再開発事業でその方たちが入れる家が建つと聞きました。だいたい皆入れるのでしょうか？

市長 住宅戸数は60戸で市営住宅も含まれます。はたして需要が充足できるかということまでは聞いていませんのでお答えできませんが、民間のケアハウスが

モニター 4県の知事フォーラムがあった時、徳島の知事さんのお話によると、一定間隔や場所を決めてそこに住んでる住民たちでゴミ拾いや掃除をして、ものすごくきれいな環境になっているらしいです。「私たちがこれを掃除しているんだ！」という熱意と責任感ができます。私たちも市民として、行政に何かを求めただけでなく、「私たちにいったい何ができるか」ということで参加できるんじゃないか、自分たちですることでもゴミを捨てるのはやめようという感覚が育つのではないかと、またコミュニティションが生まれ子どもたちの交流も生まれる、そういう環境づくりをしていくことが大事だと思います。南国市はみんなのまちですからみんな

国保だより

国保の資格に変更があったときは、14日以内に届け出を！

資格の変更とは、転入・転出・出生・死亡などの市民課へ届け出を必要とする事柄が生じたときや、職場の健康保険など国保以外の健康保険ができたとき、またはなくなったときのことです。必ず国保関係へ届け出を行ってください。

資格がないのに国保税を課税されたり、最高で3年間さかのぼって課税されます。また、加入前に医療機関へ全額実費で支払った医療費は、加入後国保へ請求しても給付されない場合があります。

学生用保険証の交付

修学のために住所を定めるとき、在学証明書と保険証・印かんを持って国保係へ申請すると、学生用の保険証を交付します。

国保健康優良家庭

国保の被保険家庭で平成8年度から平成10年度の3年間にわたり疾病などによる給付がなく、またその間の国保税も完納されている

次の66世帯が平成11年度表彰を受け、表彰状・記念品が贈られました。表彰世帯は次のとおりです。(敬称略、順不同)

- 岩原佳代、筒井聖士、大塚久夫、吉村正男、宮地巖喜、宮地敏紀、竹村吉弘、濱田時子、東川榮郎、高橋正、島崎義子、岡内彌久猪、橋田利春、川村純雄、柴岡時寛、尾木貞雄、島井次男、岡本弘、森田喜郎、田中小夜子、奥平健一、坂本幸子、藤原幹夫、森尾一男、田淵美子、岡本利通、濱田宏明、常光徳広、山岡敏、濱口重夫、前田綱、久野村君、北森綾子、宮地保昭、山下英美子、中内利子、藤田幸一、西川幸一、中澤文、関田和子、川添高知、岡上冨子、日和佐康夫、吉井志津子、川村昭二、射手人芸、弘光一壽、濱田通生、竹島美子、常徳昭恵、竹内重幸、下總一子、橋田義行、浜口正憲、中田政信、宮地喜代、前田一郎、土居進、土居功二、前田節、島田廣正、森尾照美、也上幸子、濱口登喜恵、中澤滋美、山本卓

※お問い合わせは、保健課国保係(☎88016556)まで

協力し合ってどうすればよくなるかを考え、人に何かを与えることのできる人材を、生かし育てることがこれからの南国市の課題のひとつだと思います。

市長 そのとおりでございます。市民参加、あるいは行政のみに依存しない市民意識を作っていく、そういう仕組みについては始めています。

モニター 北部地区のゴミ問題ですが、市外からゴミをどっさり持ってきています。これを行政間で何とかしてほしいです。

市長 3月議会に提案して、新年度から環境基本条例という条例を作ります。おっしゃられるとおり不法投棄の対応など、十分その視点を取り入れて環境基本計画に着手します。

モニター ぜひお願いします。副会長 言い放しになった部分もあります。一応時間となり、今日は座談会は、発言は少なかつたように思いますが、市長さんが出席される会合の中では、唯一専門家が1人もいない中で意見が上ってきたように思います。このような会合を、ぜひ定着していただきたいと思えます。皆さんどうですか？

モニター一同拍手

市長 最後にになりましたが、介護保険でもし苦情があるような場合、市や国保連合会がその相談や調整に当たるわけですが、確認はしていませんがおそらく他の市町村にはないと思います。南国市独自で介護保険に対して理解を持っていくボランティアのグループが、これを監視して苦情相談に当たる、そのための予算を新年度から確保し、第3者機関による相談窓口を設けます。具体的に申し上げますと、社会福祉センターの2階に開設して相談にあたります。

副会長 本当によく分かりました。ありがとうございます。会長 ゴミ問題もそうですが、モラルの低下、人間の常識が低下すればするほどお金がかかり、低下によって起きます。これをみんないくつか減らして、モラルの低下だけは注意してその向上によって税金を安くあげましょう。

市長 これからも、この種の会合に数多く出席させていただきたいと思えます。本日は、大変ご苦労様でした。今後ともどうかよろしくご依頼申し上げます。

人権と輝く未来へ①

人権・同和教育シリーズ

「21世紀は人権の世紀」といわれています。そこで、これまでの『同和教育シリーズ』は前回で終わり、今回は『人権・同和教育シリーズ』としてお届けします。

人権とは、「ひとりひとりが人間らしく生きていくために、生まれながらにして持っている大切な権利」であり、安全で安定した生活を送るために欠くことのできないものであります。しかし、現実の社会には、同和教育をはじめ、さまざまな人権問題が存在しています。

県では、こうした現状をふまえて、1998年4月から「高知県人権尊重の社会づくり条例」を施行しました。この条例は、県内に生活するすべての人々が、それぞれ1人の人間として人を大切に、大切にされる人権尊重の社会を築いていくことを目的としています。そのためには、県や市町村が人権に関する施策を積極的に推進することはもちろん、企業や市民がそれぞれの立場で、自主的な取り組みを進めることが重要であると考え、「人権教育のための国連10年」・高知県行動計画を策定し、1998年7月から施行しました。

この行動計画は、県民にかかわりが深い身近な人権問題である同和教育、女性・子ども・高齢者・障害者・HIV感染者、外国人などの現状と課題について、県民1人ひとりが正しい認識と理解を深め、人権が尊重される社会をつくるために行動することをめざしたものです。

このような課題についての教育・啓発資料として、市同和教育課では近々、これまで広報なんこくに掲載してお知らせしました「国連・国内・県内の人権問題」についての冊子を発行する予定です。また、今年の11月25日からの3日間、「第52回全国人権・同和教育研究大会」が高知県で開催されます。その時の分科会が南国市内(寛ヶ池中学校・大籬小学校・市民体育館・岡豊高校・清和学園)でも行われます。

次回からは、南国市はもちろん県内各地での人権問題への取り組みを紹介いたします。市民の皆さんも、職場や地域・家庭において差別のない、差別を許さない社会の実現に積極的な取り組みをお願いします。

市民からのお便り

今回も楽しくお便りいただきました。

これからもがんばってください。